

福岡県立直方特別支援学校「キャリア教育段階表」(聴覚障がい教育部門) 令和4年4月(改訂)

	幼稚園	小学部(低学年)	小学部(中学年)	小学部(高学年)	中学部	
職業的(進路)発達の段階	人間関係基礎形成の時期	進路の探索・選択にかかる基礎形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	
職業的(進路)発達課題	<ul style="list-style-type: none"> ○自己及び他者への関心の基礎形成 ○自己の役割の理解 ○身近なことを自分で決める能力の獲得 ○役割を最後まで遂行する能力の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ○夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> ○暫定的自己理解と自己有用感の獲得 ○興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ○進路計画の立案と暫定的選択 ○生き方や進路に関する現実的探索 	
職業的(進路)発達にかかわる基礎的・汎用的能力	職業的(進路)発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度					
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力 〔具体的な要素〕 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達とふれあい、安定感をもって行動する。 ・先生や友達とすごすことの喜びを味わう。 ・自分の生活に関係の深い、いろいろな人に親しみをもつ。 ・親しみをもって日常のあいさつをする。 ・友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。 ・先生や友達の言葉に興味や関心を持ち、聞いたり話したりする。 ・先生の話を理解し、行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からあいさつや返事をするができる。 ・友達の良いところを認めることができる。 ・人の話をよく見聞きし、自分の考えなどを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他者の違いを知り、他者の気持ちや考えを理解することができる。 ・自分の生活を支えている人に感謝することができる。 ・相手に応じた方法で、自分の考えなどを表現することができる。 ・友達と協力して学習や活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の個性を理解する。 ・思いやりの気持ちを持ち、他者の立場に立った言動をする。 ・自分の障がい他者に説明して、会話をすることができる。 ・集団の中での自分の役割と責任を自覚することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係をつくっていくとする。 ・他者の気持ちや立場を考えたうえで、場面に応じた言動をする。 ・自分の障がいに対して配慮してほしいことを相手に依頼しながら、公共の場で自分の用件を伝えることができる。 ・他者に対して、それぞれの役割や立場を尊重し、互いに支え合いながら学習を進める。
自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力 〔具体的な要素〕 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの片付けや整理整頓ができる。 ・自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動などを進んで行う。 ・家族一人一人の役割に興味をもつ。 ・補聴器、人工内耳の役割を知り、大切に扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことやできたことを明らかにして価値づけることができる。 ・学習や生活のねらいにふさわしい行動や発言をしようとする。 ・学校でして良いことと悪いことがあることを理解する。 ・聴覚障がい原因となって引き起こされる困難な点に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所と短所を知る。 ・分かるようになったことに喜びを感じ、次の学びへの期待をもつ。 ・自分の役割を果たし、自他の役割遂行の良さに気づく。 ・してはいけないことが分かり、自制する。 ・伝えるためのコミュニケーション方法が色々あることに気付き、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分で課題を解決できたことに喜びを感じ、自己有用感を高める。 ・積極的に自己の責任を果たし、自他の役割遂行を適切に評価する。 ・教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。 ・自分の障がいについて理解し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや行動の良さを認識し、それを生かして自己の可能性を感じる。 ・学びの中での気づきや成長を価値付け、その後の学習や生き方を考えることに生かす。 ・自分の障がいに対して、配慮してほしいことを相手に依頼することができる。
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力 〔具体的な要素〕 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだり、決めたりしようとする。 ・物事を最後までやり遂げることができる。 ・身近な遊具や道具を使って、工夫して遊ぶ。 ・自分でできることは自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や活動の振り返りをする。 ・学習や活動の目的を意識する。 ・自分のことは自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、自分の考えをもつ。 ・目的を明らかにし、解決の計画を立て、計画的に進めようとする。 ・自分の力で課題を解決しようと努力する。 ・分からないことを、施設、社会科見学等で確かめたり、質問したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を書籍やインターネットなどを利用して収集し、分類整理したり、選択したりする。 ・目的に合ったより良い計画を立て、必要に応じて改善しようとする。 ・気づいたことや分かったこと、個人・グループでまとめたことを発表する。 ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き方や進路に関する情報を収集・整理し、活用する。 ・学習や自分の成長を振り返り、今後の生活に生かす。 ・多様な情報の中から、より良い情報を選択し、必要に応じて工夫を加えて活用する。 ・多様な情報を比較検討し、根拠に基づいた選択ができるようになる。 ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする。
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力 〔具体的な要素〕 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や地域の人々に親しみをもつ。 ・身近で働く人々の様子に興味・関心をもつ。 ・係や当番の仕事を喜んでする。 ・きまりの大切さに気づき、守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で働く人々の様子が分かり、興味関心をもつ。 ・家の手伝いなどの役割の必要性が分かる。 ・時間や決まりを守ろうとする。 ・係や当番の仕事に取り組み、その大切さが分かる。 ・好きなもの、大切なものをもつ。 ・自分がしたいことを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職業や生き方があることが分かる。 ・係や当番の仕事に積極的にかかわり、働くことの大切さが分かる。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり遂げようとする。 ・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・自分のやりたいこと、良いと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・将来の夢や希望をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な産業、職業の様子が分かる。 ・将来について考えることの大切さが分かる。 ・成人聴覚障がい者の話を聞いたり、職場を見学したりすること等を通して、将来への見通しをもつ。 ・仕事における役割の関連性や変化に気づく。 ・自分がやりたい、またはやれそうな仕事や活動を選ぶ。 ・将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や職業を思い描き、自分に合った職業への関心・意欲を高める。 ・職場体験を通して、勤労の意義や大切さを理解する。 ・自己の適性を考え、進路の選択や物事の判断をすることができるようになる。 ・職業や聴覚障がい者の就職先の変化のあらましを理解する。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。 ・将来の進路計画に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。